



コミュニティバスに バイオディーゼル燃料導入

4月1日から橋本駅南口～相模川自然の村間で

相模原市では、橋本駅南口と相模川自然の村の区間(約7・4キロ)で実証運行しているコミュニティバスのうち、4月1日からは1台がバイオディーゼル燃料100%で実験走行を開始しています。

この実験走行は、神奈川中央交通(株)の協力を得て実施しており、バス事業としては県内で初めての試みとなります。バイオディーゼル燃料で走行しているコミュニティバスの車内には、バイオディーゼル燃料の紹介、相模原市の取り組みなどの広告やチラシをご覧いただけます。

今後、1〜2年間の実験走行の結果を見て、すべてのコミュニティバスにもバイオディーゼル燃料を導入していく予定です。



実証実験開始から1年

ごみ収集車によるバイオディーゼル燃料100%での実証実験を開始してから先月で1年が経過しました。現在も、ごみ収集車8台とコミュニティバス1台での実証実験を継続していますが、エンジン故障などの車両トラブルもなく、順調に運行を続けています。

京都市の協力のもと、バイオディーゼル燃料の供給を受けて実証実験を行ってきましたが、市では今後、家庭から回収した使用済み食用油をバイオディーゼル燃料に精製できる「バイオディーゼル燃料化施設」を整備する計画を進めています。今年度に「(仮称)相模原市におけるバイオディーゼル燃料化推進事業基本計画」を策定し、21年度以降に燃料化施設の整備を予定しています。



Copyrights©分別戦隊シゲンジャー銀河 WebCreators Fairytale/相模原市

お問い合わせ先

相模原市 環境経済局 資源循環部
清掃施設課 BDF施設計画チーム
〒229-8611 相模原市中央2丁目11番15号
電話:042-769-8246 FAX:042-769-4445
Eメール:seisou-shisetsu@city.sagamihara.kanagawa.jp

裏面もご覧ください。

アブラブラウン初登場

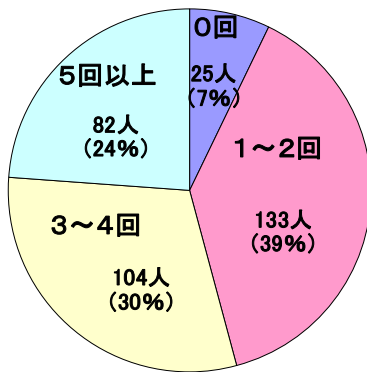
相模原市の資源分別キャラクターの1人である使用済み食用油担当の「アブラブラウン」が4月5・6日に開催された第35回市民さくらまつりに初登場しました。当日は、使用済み食用油の回収をPRするとともに、来場した市民を対象に使用済み食用油の回収についてのアンケートを実施しました。アンケート結果は下記のとおりです。これからも街頭キャンペーンやリサイクルフェアなど、さまざまなイベントに登場する予定です。お楽しみに！



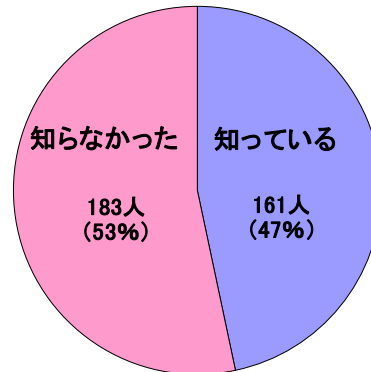
◆使用済み食用油回収のアンケート結果◆

※344名の方々にご協力いただきました。

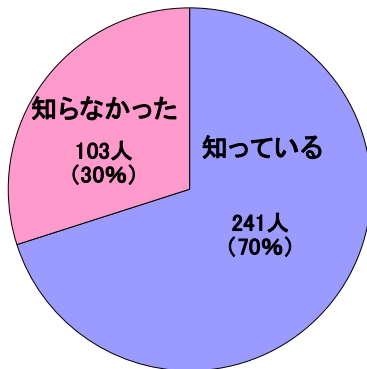
Q. 天ぷらや揚げ物の調理は月に何回しますか？



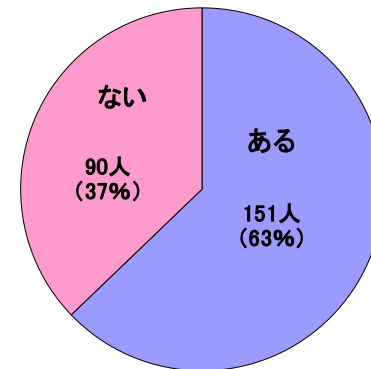
Q. 使用済み食用油がバイオディーゼル燃料などにリサイクルされているのを知っていますか？



Q. 資源の日に使用済み食用油を回収していることを知っていますか？



Q. 左の問いで「知っている」と答えた方で、使用済み食用油を資源の日に出したことがありますか？



使用済み食用油の資源回収にご協力ください！

市民さくらまつりでのアンケート結果では、9割以上の方が月に1回以上、天ぷらや揚げ物をしています。しかしながら、実際に資源の日に使用済み食用油を出したことがある人は半分以下の151人でした。使用済み食用油は、捨ててしまえばごみですが、資源として回収されればバイオディーゼル燃料やインクの原料などに再利用することができます。なるべく500mlのペットボトルに入れて、週1回の資源の日に出してください。ようご協力をお願いいたします。